

**A** 市長 農工商・観光課、わがまち活性化課を中心に、毎月、千葉駅の構内をお借りして、特産品の販売をしております。恐らく、そういった経験も、今、御提案いただきました空港内での、パイロットショップ的な考え方にもつながっていくと考えます。

空港圏にありながら、開港以来35年、条件は変わっていないわけですが、地の利を全く生かして切れていないという現実を、私たちは感じています。他市町に、ほとんど恩恵は行ってしまっているという現状を、どのように打破していくかという事になりますと、待っていて、恐らくだめだろうと思います。

今、御提案いただきましたことも、しっかりと検討していかなければいけないと思います。トランジットのお客様について、市においていただくチャンスがあるかどうかということの調査

から始めさせていただきたいと考えます。

**Q** カーブリーの弾力的な運用が実際に発生した際に、騒音下の地域住民にどのような手段で周知しているのか。

**A** 総務部長 成田国際空港(株)のホームページ上で、発生した翌日にその詳細を掲示し、その内容を公開します。なお、市におきましても、定期的に年に1回程度で掲載しますが、広報紙にて掲載し広く地域住民にお知らせします。

**Q** 次の補助事業に対する制度の充実についてはどうか。

・第1種区域内のエアコン電気料補助について  
・固定資産税の補助について  
・第1種区域及び隣接区域以外の騒音下地域のエアコン設置について

**A** 市長 施策を検討する中で出てくるのかと思っております。さまざまな見地から、施策の有効性を検証させていただいて、前向きに検討させていただきます。と思います。

FM(ファシリティアネジメント)とは  
企業や組織の業務用不動産(土地、建物、構築物、設備等)すべてを、経営にとって最適な状態(コスト最小、効果最大)で保有、運営、維持するための総合的な管理手法。

【トランジット客とは】  
航空機で目的国に行く途中、給油その他のために一時他国の空港に立ち寄る旅客者。

個人質問



小野崎正喜 議員

● 農業の問題について

**Q** 市長は、市の基幹産業である農業を現在の実情を踏まえ、どのように考えているのか。

**A** 市長 平成23年度に農業産出額は、全国で第4位となっており、紛れもない農業県です。この農業県、千葉の中におきまして、市は県内第4位の農産物の産出を誇っております。

農業を取り巻く非常に厳しい環境は、現実の問題としてあるのですが、市内の農家の皆様方が頑張ってくださいているから、これだけの産出額が確保されているということとを、しっかりと認識していかねばいけないと思っております。

高齢化、後継者不足の中で、市の農業は大変難しい状況に陥っていることは事実です。農業の将来について、しっかりと取り組んでいかねばいけないと思っております。

**Q** 市の農業の特徴をどのように把握しているのか。

**A** 経済環境部長 大きく分け、稲作が中心の九十九里地域、園芸等が中心になっている北総台地の地域という形に分かれると思っております。

**Q** 現在の市内の総農家数と専業農家数及び農業従事者の推移はどうか。

**A** 経済環境部長 2010年の農業センサスによりますと、農家数は2千144戸、専業農家数は655戸、農業従事者数につきましては5千957名となっております。

推移につきましては、2005年度と比較して、農家数で199戸、8.5%減、農業従事者で846名、12.4%減となっておりますが、専業農家数につきましては30戸、4.6%の増になっています。

**Q** 高齢化率と推移はどうか。

**A** 経済環境部長 2010年の農業センサスによりますと、農業従事者5千957名のうち、60歳以上の方が3千97名となっており、全体の52%を占めています。

2005年と比べますと、48%ぐらいでしたので、5年間で約4%高齢化が進んでおり、本年、2013年は、さらに進んでいるものと推測されます。

**Q** 新規就農者数の推移はどうか。

**A** 経済環境部長 平成21年度は7名、平成22年度が28名、平成23年度が11名、平成24年度が31名です。内訳

